

# 令和4年度 学校マネジメントシート

【様式】

学校名（ 北星高等学校 ）

## 1 目指す姿

(1) 目指す学校像	安心・安全な環境で、「自分ならではの学び」を保障する学校	
(2)	育みたい 児童生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢や希望の実現に向けて、主体的に学ぶことができる生徒</li> <li>・知・徳・体のバランスのとれた生徒</li> <li>・社会に受け容れられ、社会的・職業的に自立できる生徒</li> <li>・お互いの人権を尊重し、相手の気持ちを思いやれる生徒</li> </ul>
	ありたい 教職員像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北星高校職員であることに誇りをもち、チームワークを大切にする教職員集団</li> <li>・傾聴の姿勢を重視し、個々の生徒の成長を支援する教職員</li> <li>・教職員としての使命感や責任感をもち、自らの課題を見つけ、探求し続ける教職員</li> </ul>

## 2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>&lt;生徒&gt; 安心して学べる環境、学び直しなど個に応じた学習支援、心身の課題に応じた生活支援、自己実現に向けた活動支援</p> <p>&lt;保護者&gt; 社会に出て自立できる力を身につけさせる支援</p> <p>&lt;地域&gt; 生徒の公共心とマナーの育成による地域の安全安心、地域活性化への協力・貢献</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p>&lt;家庭&gt; 子どもの社会的自立ときめ細やかな支援、子どもの学習状況や本校の教育活動についての情報提供、安心して通わせられる学校環境</p> <p>&lt;中学校・高等学校&gt; 多様な課題を抱えた生徒の学びのための連携、学びの場の提供</p> <p>&lt;地域&gt; 地域行事や防災での学校施設の利用と生徒・教職員の協力</p> <p>&lt;関係機関&gt; 生徒支援のための連携と情報共有</p>	<p>&lt;家庭&gt; 本校の教育活動への理解と協力</p> <p>&lt;中学校・高等学校&gt; 生徒の情報共有</p> <p>&lt;地域&gt; 本校の教育活動に対する理解と支援</p> <p>&lt;関係機関&gt; 生徒支援のための連携と情報共有、専門的知識の提供</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等	<p>○コロナ禍において学校生活の制限を受ける中であっても、生徒や保護者の不安や疑問の声に耳を傾けて、一つ一つ丁寧に受けとめ、寄り添い、対応してもらっていることに対して、関係者の努力を高く評価したい。安心・安全な環境で生徒一人ひとりの学びの保障を継続して進めていってもらいたい。</p> <p>○令和4年度からの「生徒一人一台端末の導入」については、各家庭の状況等を踏まえて十分な配慮を行って、進めていってもらいたい。教育効果を高めるため、学習内容や学習活用場面等を計画して、一人ひとりの生徒にとって有効な学習ツールとなるようにしてもらいたい。</p> <p>○学校防災について、生徒一人ひとりの「安心・安全な環境づくり」をキーワードに地域関係者ととも考え、二次避難や避難所運営、施設活用を検討していってもらいたい。そして、そのことを通して「地域から信頼される学校づくり」を目指してもらいたい。</p>	

(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な学習歴や学習ニーズをもった生徒、特別な支援や配慮を必要とする生徒が多数在籍している。</li> <li>・ユニバーサルデザインを意識した授業改善の継続と、ICT等の学習環境の整備およびオンライン教育の推進に取り組むことが必要である。</li> <li>・主体的な学びの推進に向けて、生徒の興味関心・意欲を引き出す授業づくりとともに、生徒の多様なニーズに対応できる教育課程の編成が課題である。</li> <li>・インクルーシブ教育実現のため、生徒の性格特性や心身の発達課題、背景などを教職員が十分に理解した上で、専門家や関係諸機関と連携して一人ひとりの生徒に対応した指導・支援にあたる必要がある。</li> </ul>
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○働きながら学ぶ生徒が減少し、社会参画や社会的自立に課題を抱えた生徒が多数在籍している。</li> <li>・ソーシャルスキルを含む社会適応能力の育成と向上を図ることが必要である。</li> <li>・集団生活の中で生徒が自らを律することができ、主体的に行動ができるよう指導を充実させていく必要がある。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員の「北星高校職員として働くこと」に対する満足度は高く、チームワークを大切にする雰囲気がある。</li> <li>・業務分担の偏りと多忙感の解消のため、業務内容の精選や効率化だけでなく、業務をチームで行う協力体制の構築と職員間の疎通性を高め助け合う風土の醸成が必要である。</li> <li>○教職員・保護者・地域・関係諸機関との連携を強化し、非常勤職員や外部の教育力も含めた「チーム北星」により、生徒個々の成長を支援する体制づくりが課題である。</li> <li>・「チーム北星」で生徒を支援するために、教職員だけでなく、保護者、地域も含めた情報共有を密にする体制づくりが課題である。</li> </ul>

### 3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○インクルーシブ教育の理念にもとづいた教育活動</li> <li>・生徒が主体的に活動し、学ぶ楽しさ、わかる喜びを実感できるように、ICTを活用した学びを推進する。</li> <li>・安心した学校生活を送れるよう、生徒一人ひとりを認め受け入れる環境を提供する。</li> <li>・生徒の社会的・職業的自立を促すため、キャリア教育の充実により、自己肯定感を高める教育を推進する。</li> </ul>
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○組織力の向上</li> <li>・定時制・通信制が一体となった持続可能な学校運営を行うため、情報共有のしくみと協力関係を構築する。</li> <li>・生徒の成長と自立を支援するため、教職員・保護者・地域・関係諸機関との連携体制を強化する。</li> <li>・教職員の指導力や授業力の向上を図り、業務の平準化についても継続的に検討し、負担軽減に努める。</li> </ul>

#### 4 本年度の行動計画と評価

##### (1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
主体的な学びの推進	<p><b>【学習支援】</b></p> <p>○個々の生徒が必要としている学習活動を提供できるよう、教育課程の編成に努める。</p> <p>○生徒が「学ぶよろこび」を見だし、さらには社会に出ていくうえで役立ち、また自分の目標に近づくことにつながるような学びの実現をめざす。</p> <p>(1) 履修相談・受講指導の充実</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・履修相談・受講指導期間(年2回)</li> <li>・定時制履修ガイダンス実施(年1回+昼間部1年次向け1回)</li> </ul> <p>(2) 授業・レポート・スクーリング改善</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒による授業・スクーリング評価(年1回以上)</li> <li>・授業・スクーリングにおけるICT機器の活用</li> <li>・レポートの改訂</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員評価、生徒自己評価ポイント9割以上</li> </ul> <p>○安心・安全な環境のもとで、生徒が出席しやすく教員が授業・スクーリングをしやすい学習環境の整備を行う。</p> <p>(1) 教室整備</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1教室以上の傷んだ机・椅子の入れ替え</li> </ul> <p>(2) ICT機器の活用</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一台端末を活用した授業の実施</li> <li>・感染症・災害時等の非常時を想定した、オンラインを活用した学習指導等の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度から、新教育課程を実施した。新課程生と旧課程生がそれぞれの課程で学習を進め卒業をめざせるように実施教育課程を編成するとともに、生徒が今後の見通しを立てて履修登録できるように履修相談・受講指導期間での面談の充実を図った。</li> <li>・(定時制)2月に生徒による授業評価を行った。5段階で教員評価4.40、生徒評価4.29で昨年度同期より0.1ポイント下回った。(通信制)11月に生徒による授業評価を行った。結果、4段階で教員評価3.78、生徒自己評価3.86で昨年度とほぼ同様で良好だった。</li> <li>・1教室の机と椅子を新品に入れ替え、他教室の傷んだ机・椅子も傷んでいないものと交換した。</li> <li>・(定時制)情報推進担当と連携して、新入生向けに生徒一人一台端末のオリエンテーションを実施した。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮して、講演会等ではオンラインを活用した分散教室を継続している。</li> </ul>	◎

<p>安心安全な学校づくり</p>	<p><b>【人権学習】</b>  ○あらゆる教育活動において人権教育を推進する。  ○総合的な探究(学習)の時間、LHR、学校行事などのさまざまな教育活動を通じて仲間づくりを推進する。  ○個別の人権問題や差別の現状について学ぶことで、人権の意義と重要性を理解し、自他の人権を尊重できる人権感覚を育む。</p> <p><b>&lt;定時制&gt;</b>  <b>【活動指標】</b>  ・総合的な探究(学習)の時間で人権学習を実施(2回)</p> <p><b>【成果指標】</b>  ・「夢ノート」において「興味をもった内容や新たな気づきがあった」生徒70%以上</p> <p><b>&lt;通信制&gt;</b>  <b>【活動指標】</b>  ・LHRや総合的な探究(学習)の時間等で人権に関する学習を実施(複数回)</p> <p><b>【成果指標】</b>  ・人権LHRへの参加人数の増加</p>	<p>・教員向けの人権学習会を行い、意見の交流や人権に関する考えを深めることができた。</p> <p><b>&lt;定時制&gt;</b>  ・定時制では、2回の人権学習を行った。1回目は6月2日にインターネット上の人権学習、2回目は12月1日にスマホの利用とSNSに関する人権講演会を開催した。「興味をもった内容や新たな気づきがあった」と回答した生徒は、1回目は92.7%、2回目は92.9%と指標を達成した。</p> <p><b>&lt;通信制&gt;</b>  ・通信制では、11月27日(日)12月1日(木)に人権LHRを行った。各学年でテーマを決める形式で実施した。  参加人数:日曜コース30人、木曜コース11人。木曜コースは前年より参加人数が増加した。</p>	<p>◎</p>
	<p><b>【生活支援・生徒指導】</b>  ○「安心」して学校生活を送ることができる、「安全」な学校づくりを推進する。また、生徒一人ひとりが「命を守り、命を大切にす」意識を持つための啓発を行う。</p> <p><b>&lt;定時制&gt;</b>  ・生徒の情報を収集し、職員間で情報共有に努める。問題行動の未然防止や早期対応をすることで生徒一人ひとりが安心・安全に学べる環境を整える。</p> <p><b>【活動指標】</b>  ・学校生活調査を実施する(年間3回)  ・年間を通じた継続的な校内外の巡回を行う。  ・始業式、終業式、長期休暇前等の集会時の講話で命の大切さについてふれる。  ・総合的な探究(学習)の時間に7月「交通安全」教育、12月「薬物乱用防止」教育を実施する。  ・授業規律を徹底する。</p>	<p><b>&lt;定時制&gt;</b>  ・集会時に交通安全、薬物乱用防止、SNSの適正利用等について注意喚起を行い、命の大切さにふれる講話を行った。  ・「一人で悩まず相談しよう」プリントの校内掲示や各家庭への郵送等、各種相談窓口の情報を機会あるごとに生徒、保護者に伝えた。  ・学校生活アンケートを年3回(5月、9月、2月)行った。回答内容を確認し、必要がある場合は個別面談での聞き取り等、生徒の不安や悩み、心配ごとに寄り添った。また、特にいじめにつながる事案がないかに留意し問題の早期発見と早期解決に取り組んだ。  ・継続的な校内外の巡回、生徒への声かけにより、生徒の安心感の醸成に努めた。</p>	<p>◎</p>

<p>安心安全な学校づくり</p>	<p>&lt;通信制&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒にネットリテラシーを身につけさせることで、インターネット上の危険に巻き込まれない力を養う。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活アンケートを実施する(年間3回)</li> <li>・職員による年間を通じた継続的な校内外の巡回を行う。</li> <li>・特別活動等の時間を利用し、インターネットに関する学習を行う。</li> </ul>	<p>・7月「交通安全」教育、12月「薬物乱用防止」教育を総合的な探究(学習)の時間に行った。</p> <p>&lt;通信制&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットを通じた子供の性被害の防止に向けて、Google Classroomでリーフレットを発信し啓発をした。</li> <li>・学校アンケートを年間3回実施に加えて、いつでも相談できるいじめ相談窓口を12月より実施した。</li> <li>・年間を通じて、巡回を行った。</li> <li>・通信制は、LHRの参加が個々でばらつきがあるため、全体に周知徹底することが難しく、Google Classroomの利用拡大などが今後の課題である</li> </ul>	
	<p>【生活支援・保健】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○個に応じた指導・支援の充実に努める。</li> <li>○校内における新型コロナウイルス感染症の予防及び感染拡大防止。</li> <li>・保健室から情報発信し、定時制各部・通信制・各分掌等と連携を図り、生徒一人ひとりを尊重し、個に応じた指導・支援を実践する。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーや教育相談員との情報共有を密にし、連携して生徒の指導・支援を行う。(教育相談)</li> <li>・対象生徒の実態を把握し、チューター・生徒・保護者との面談を通して個別の教育支援計画を作成する。(特別支援)</li> <li>・集団に入ることが困難な生徒に対し、通常教室での学習に戻る力を育むために教員とのマンツーマンでの学習支援を実施する。(個別支援)</li> </ul>	<p>(教育相談)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの情報共有を毎回実施し、助言を得ながら連携して生徒への支援を行った。</li> </ul> <p>(特別支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、チューター・生徒・保護者が学校生活スペシャルマネージャー(支援員)と面談を行い、個別の教育支援計画を作成した。</li> </ul> <p>(個別支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定時制の生徒に対して、通信制システムを利用した個別の支援を実施した。</li> </ul> <p>前期 2名・後期 1名利用</p>	<p>◎</p>

<p>社会的 自立を 促す支 援</p>	<p><b>【活動支援・進路指導】</b>  <b>&lt;定時制&gt;</b>          ○キャリアデザインセミナーおよび進路LHRの充実を図る。          ・進路に関して興味関心が高まり、参加出席してよかったと思えるキャリアデザインセミナー・進路LHRづくりを行う。  <b>【活動指標】</b>          ・「総合的な探究の時間」においてキャリアデザインセミナーを、年4回実施する。  <b>【成果指標】</b>          ・振り返りシート(「夢ノート」)において生徒の満足度70%以上。  <b>&lt;通信制&gt;</b>          ○進路ガイダンスを中心にしたキャリア教育の充実に努める。          ○ソーシャルスキルを意識した授業づくりとLHRの運営を推進する。  <b>【活動指標】</b>          ・進路ガイダンスを3回(5時間)実施する。  <b>【成果指標】</b>          ・振り返りシートのアンケートにおいて生徒の満足度70%以上。  <b>&lt;定通共通支援の促進&gt;</b>          ○定時制、通信制合同での進路支援の促進および定時制進路行事への通信制生徒の参加を促す。  <b>【活動指標】</b>          ・就職選考委員会後の試験対策を定通合同で催す。          ・通信制卒年次生を中心に定時制キャリアデザインセミナー②への参加を募る。</p>	<p><b>&lt;定時制&gt;</b>          ・キャリアデザインセミナーを4回実施した。3回目はあさけプラザでの実施となり、生徒はもちろん講師からも好評であった。振り返りの満足度は94.6%(昨年96%、一昨年91%)であった。生徒たちが前向きに参加したということと共にセミナー内容が合致していたと言える。この結果をもとに、より一層満足できるセミナーを目指して、次年度以降も行っていきたい。  <b>&lt;通信制&gt;</b>          ・学校行事にキャリア教育を位置づけたものが定着してきており、計3回実施した。振り返りの満足度も参加生徒の90%以上が「大変役立つ」「役立つ」と回答している。  <b>&lt;定通共通支援促進&gt;</b>          ・就職・進学の説明会の合同開催をしてきた。特にキャリアデザインセミナー②へは通信制からも24名が参加し、昨年度の2倍の人数となった。</p>	<p>◎</p>
----------------------------------	--	--	----------

改善課題

- ・生徒が興味・関心を持つ魅力ある授業とするため、公開授業等を通して授業改善に取り組むとともに、授業規律の向上についても、生徒指導部を中心に学校全体で取り組んでいく必要がある。
- ・多様な背景を抱える生徒を支援するため、保健部を中心として、各分掌・各部が連携し情報共有することで、より効果のある支援となるよう努めていく。さらに、教育相談や特別支援など、生徒に寄り添った支援の充実を図るための体制づくりが必要である。
- ・今年度は、個別支援を受ける生徒が減少傾向にあることから、個別支援の目的(通常の授業あるいはスクーリングに戻る力)や仕組みを周知する方法を検討する必要がある。
- ・通信制生徒が、将来の目的について考える機会とするため、キャリアデザインセミナーへの参加を促し、進路希望実現に向けた取組を推進していく必要がある。
- ・「時間を守る」など、生徒の基本的な生活習慣の向上を図るため、生徒指導部と各部が中心となり、登下校指導や巡回指導など、学校全体で取り組んでいく必要がある。
- ・今年度の人権教育は、「インターネット上の人権学習」を実施し、またSNSに関する人権講演会も実施することができた。本校生徒には、お互いの人権を尊重し、相手の気持ちを思いやれる心を育むことを目的とした人権教育となるよう、取り組んでまいりたい。

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	<>結果	備考
「チーム北星」の協力体制の構築	<p>&lt;企画調整&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者・地域等への情報提供の充実を図る。</li> <li>・個々の閲覧者に対してわかりやすく、的確な情報発信を実現すべくホームページを刷新する。</li> <li>・きめ細やかな更新を行い、最新の情報を発信する</li> </ul>	<p>&lt;企画調整&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月16日にホームページをリニューアルすることができ、随時様々な情報の更新に努めている。本年度は防災教育を通して、地域の方々と合同で二次避難所への避難練習を計画し、職員と地域住民との合同避難を行った。その結果、昨年度からの地域連携が評価され、みえ防災大賞奨励賞を獲得した。次年度以降も合同での避難練習等を計画し地域の防災に対する啓発を行っていく。</li> </ul>	◎
	<p>&lt;学習支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習支援に関する情報共有を通して分掌・部・課程間の連携協力関係を創出する。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統一校務支援システム(「賢者」)に関する研修を実施し、生徒の出欠、学習状況等の迅速な入力と指導への活用を図る。</li> <li>・定通併修生徒の学習状況についての情報共有</li> <li>・「総合的な探究の時間」における地域人材の活用</li> </ul>	<p>&lt;学習支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(定時制)授業の出欠、(通信制)スクーリングやレポート等の学習状況、評価について、おおむね「賢者」への入力はスムーズにできた。</li> <li>・併修生の担当者を各課程におき、情報共有をしやすくした。</li> <li>・(定時制)「総合的な探究の時間」で、四日市市在住のアーティストを招いて講演会を行った。</li> </ul>	◎
	<p>&lt;PT(学校マネジメントプロジェクト会議)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○職員間のコミュニケーションとチームワークの充実を図る。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現職教育による職員間の研修の実施。(年3回)</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りシート及び教職員満足度調査でのチームワークに関する項目の「教職員間に互いに協力・連携する雰囲気がある」割合が3.3以上。</li> </ul>	<p>&lt;PT&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症拡大防止対策をしながら計画どおり実施することができた。対面で意見交流を行い、教員間の活発な意見交流の場となった。</li> <li>・チームワークに対応する質問項目「教職員間に互いに協力・連携する雰囲気がある」は満足度2.98であった。(昨年度3.08)</li> </ul>	





		の教育活動を安全に継続して行うことができた。	
<b>改善課題</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、新たに学校HPを作成し、様々な情報の発信を行っている。今後も、学校行事や生徒会行事等の取組や、防災教育を通して地域の方々との連携の様子などの発信に努めてまいりたい。</li> <li>・今年度は、教職員のコンプライアンスミーティングを各分掌・各部で年2回、全体でも年2回実施し、ミーティング内容を全教職員にメールで共有することで、不祥事根絶の意識向上を図った。今後も、さらにコンプライアンス意識を向上していける取組となるよう、努めてまいりたい。</li> <li>・総勤務時間縮減の取組として、管理職からの声掛けや業務の偏りを改善し、教職員が健康で働きやすい環境づくりを推進していく。</li> </ul>			

## 5 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、刷新したホームページを活用し、学校行事の様子や日常の教育活動の取組みなどの情報発信を積極的に行ってもらいたい。また、保護者や地域からの意見を受取る仕組みの充実をお願いしたい。</li> <li>・コロナ禍において実施を控えていた授業公開を再開し、一人一台端末を活用した新しいスタイルの授業の様子を、保護者や地域の関係者など多くの方が見学できる機会を設けてもらいたい。</li> <li>・学校で採用されている学習用端末はクロームブックであるが、将来にわたる継続的なパソコンの利用も念頭に置き、より広く普及しているOSやアプリケーションの導入を検討してもらいたい。</li> <li>・生徒を褒めることは自己肯定感を高めることに繋がるので、日頃から生徒との対話に努め、積極的に生徒の行動を褒めることを意識した指導・支援を推進してもらいたい。</li> </ul>
----------------------------	--

## 6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が「命を守り、命を大切にすること」を考え、意識を向上させる良い機会とするため、「交通安全」・「いじめ防止」・「薬物乱用防止」などの講演会等の実施により、安心・安全な学校づくりを推進していく。</li> <li>・授業規律を遵守し、授業の大切さを指導するとともに、校内外の巡回を生徒指導部と各部で協力して実施していく。</li> <li>・授業等のあらゆる教育活動において、人権教育を推進し、差別の現状等について学ぶことで、自他の人権を尊重できる人権意識の向上を図っていく。</li> <li>・生徒の事情や背景に応じた配慮・支援の充実を図るため、教育相談体制を構築し、各課程・各部・各分掌間の情報共有を図り、外部関係機関との連携を緊密にしていく。</li> <li>・キャリア教育の一環として、キャリアデザインセミナーを充実させ、生徒が将来の進路に関して、興味・関心が高まる取組を推進していく。</li> </ul>
<p>学校運営についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度に刷新した学校HPや安心安全メール等を活用し、本校の教育活動を保護者や地域の方々に発信し、信頼される学校づくりに努めていく。</li> <li>・信頼される学校であるため、行動計画を見直し、教職員としての使命と職責の重さを常に意識し、公教育への信用失墜とならないよう、研修会等を実施していく。</li> <li>・教職員の働きやすい環境づくりを構築するため、総勤務時間縮減に向けての取組として、定時退校日を月2回以上、学校閉校日を年5日以上設定していく。</li> </ul>